

Ⅱ 教科の問題に関する結果

1 小学校

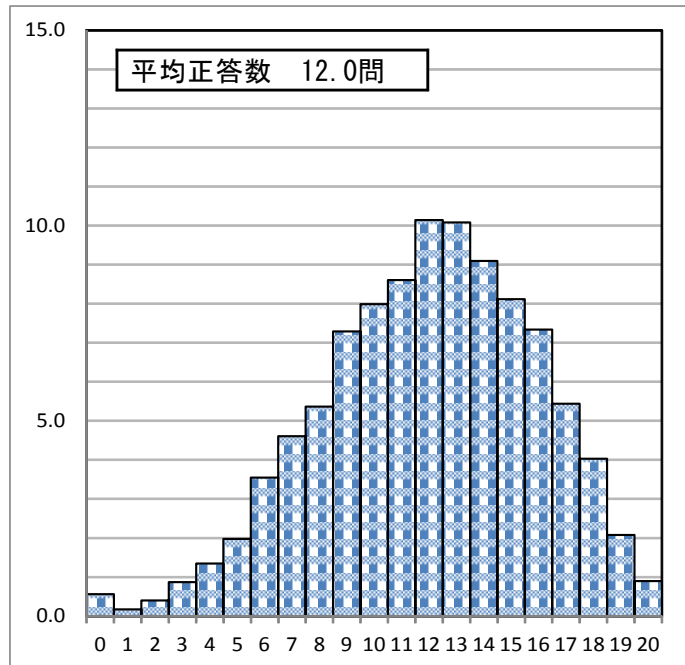
(1) 国語

【第4学年】

実施児童数	10,912 人
設問数	20 問
平均正答率	59.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	68.8
	主として「活用」	4	24.1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	47.4
	書くこと	3	31.2
	読むこと	4	61.0
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	10	71.8
評価の観点	話す・聞く能力	3	47.4
	書く能力	3	31.2
	読む能力	4	61.0
	言語についての知識・理解・技能	10	71.8
問題形式	選択式	5	62.5
	短答式	9	73.9
	記述式	6	36.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



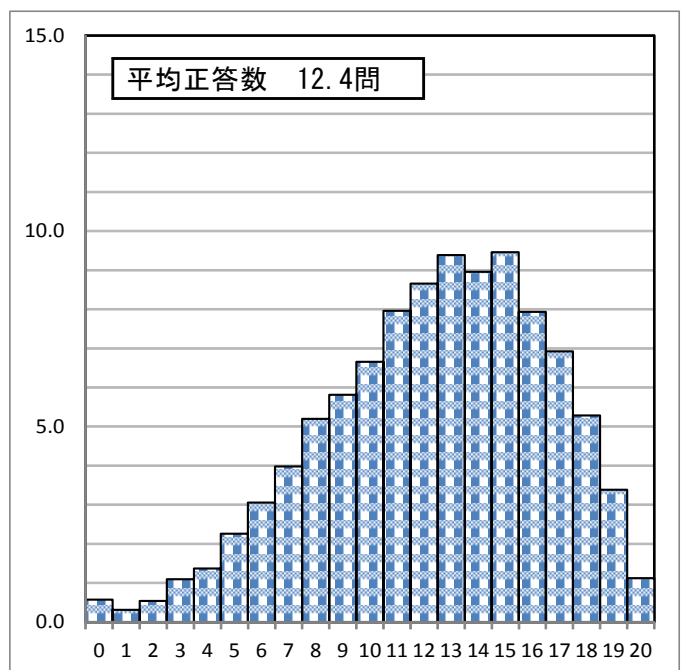
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	11,003 人
設問数	20 問
平均正答率	61.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	66.9
	主として「活用」	3	33.1
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	64.2
	書くこと	4	37.1
	読むこと	5	60.3
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	8	74.2
評価の観点	話す・聞く能力	3	64.2
	書く能力	4	37.1
	読む能力	5	60.3
	言語についての知識・理解・技能	8	74.2
問題形式	選択式	10	70.4
	短答式	6	61.8
	記述式	4	40.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



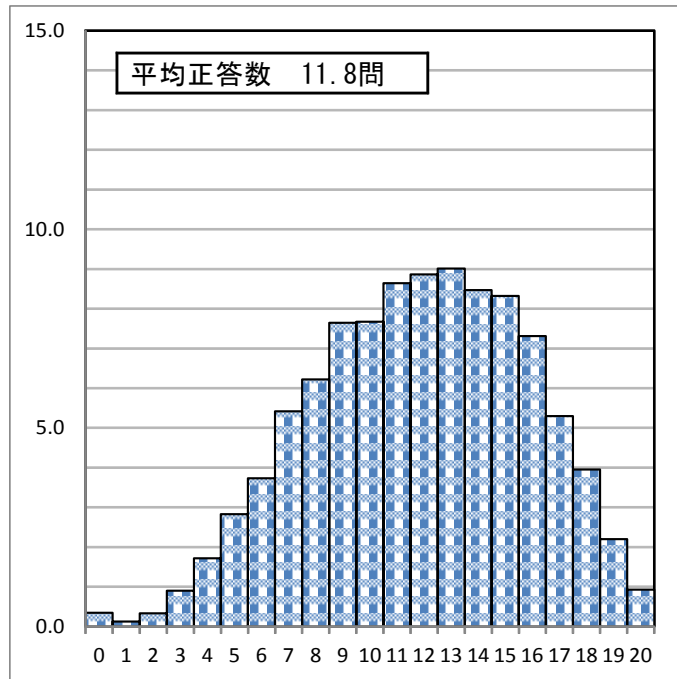
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,921 人
設問数	20 問
平均正答率	59.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	69.7
	主として「活用」	6	34.4
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	81.2
	書くこと	3	33.2
	読むこと	6	48.9
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	9	69.5
評価の 観点	話す・聞く能力	2	81.2
	書く能力	3	33.2
	読む能力	6	48.9
	言語についての 知識・理解・技能	9	69.5
問題形式	選択式	10	66.8
	短答式	7	59.1
	記述式	3	33.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができています。
 - ・「荷物（にもつ）」（小4¹一：97.5%）
 - ・「固める（かためる）」（小5¹一：97.7%）
 - ・「興味（きょうみ）」（小6¹一：98.9%）

- 目的に応じて、中心となる語を捉えることについて、相当数の児童ができています。
 - ・【ようこさんのメモ】に入る言葉を抜き出して書く（小4²一：89.2%）

- 段落の内容を的確に捉え、適切な接続詞の使い方を理解することについて、相当数の児童ができています。
 - ・文中の（ ）に入る言葉を選択（小5³一：84.5%）

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・「歴史」と「気候」の両面から本文中の言葉を使って書く（小4³四：11.1%）
 - ・資料の中から二つの分かったことを取り上げて書く（小5⁴三：28.9%）
 - ・理由を資料の中から取り上げて書く（小5⁵三：16.5%）
 - ・二つの資料から言葉や文を取り上げて書く（小6⁴二：34.0%）
 - ・資料から「二つの場所での体験」を取り上げて書く（小6⁵一：26.4%）
 - H30小6 全国調査（県平均）30.5% 「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く」
 - H30小6 全国調査（県平均）30.0% 「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」

- 主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分けることについて、課題が見られる。
 - ・「しかし」を使って二文に分けること（小6¹六：57.4%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【小学校4・5・6年生】

(小学校4年生)

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・「歴史」と「気候」の両面から本文中の言葉を使って書く。

_____部には、「先生が発見した化石は、日本列島のれきしや気こうを知るうえでの重要な手がかりになっているのです。」とありますが、くわしく言うと、化石はどのようなことを知るうえでの手がかりになっていますか。次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 日本列島の「れきし」と「気こう」の両方のことについて、本文中の言葉を使って書くこと。
- 五十字から、七十字までにまとめて書くこと。なお、(、)や(。)も字数に数えます。

【正答例】

氷河時代に日本列島の一部が大りとつながっていたりはなれていたりした時期や、当時の気こうがげんざいとはかなりちがっていたこと。

正答率：11.1%

(小学校5年生)

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・理由を資料の中から取り上げて書く。

田中さんは、瀧川辨三について次のような紹介文を書きました。 に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 辨三が、こんなに立ち向かい、努力を続けた人だと思う理由を【瀧川辨三について書かれた本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「なぜなら、」に続けて、紹介文にふさわしい表現で書くこと。
- 六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、句読点(、)や(。)や(「」)も字数にふくむ。

【正答例】

(なぜなら、)会社がとう産しそうになっても決してあきらめることなく、自ら工員として働きながら世界一のマッチに勝てる製品を作るために研究を進め、追求し続けたからです。

正答率：16.5%

(小学校6年生)

- 主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分けることについて、課題が見られる。

次の文は、長いので読みやすくなるように、「しかし」を使って二つの文に分けます。書き直したときの一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「しかし、」に続く七文字を書きましょう。

五年生までは、はずかしがりやで、授業中に発表することが苦手だったが、六年生になって、応えん係として、他の学年の前に立って話す機会が増えたので、自分に自信がもてるようになってきた。

【正答】 とが苦手だった(。しかし、)六年生になって

正答率：57.4%

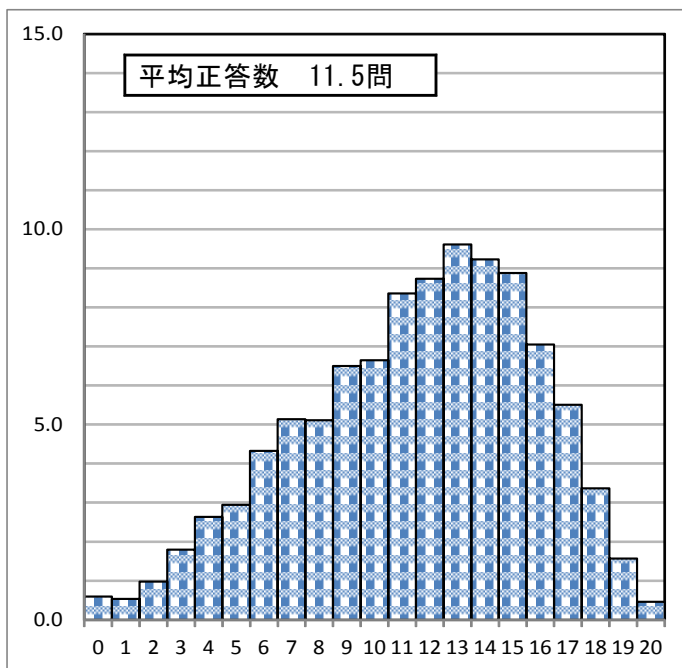
(2) 算数

【第4学年】

実施児童数	10,851 人
設問数	20 問
平均正答率	57.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	63.7
	主として「活用」	7	46.1
学習指導要領の領域等	数と計算	7	67.3
	量と測定	3	70.5
	図形	3	40.8
	数量関係	7	49.5
評価の観点	数学的な考え方	9	51.6
	数量や図形についての技能	9	72.0
	数量や図形についての知識・理解	2	19.1
問題形式	選択式	2	61.4
	短答式	13	63.5
	記述式	5	40.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



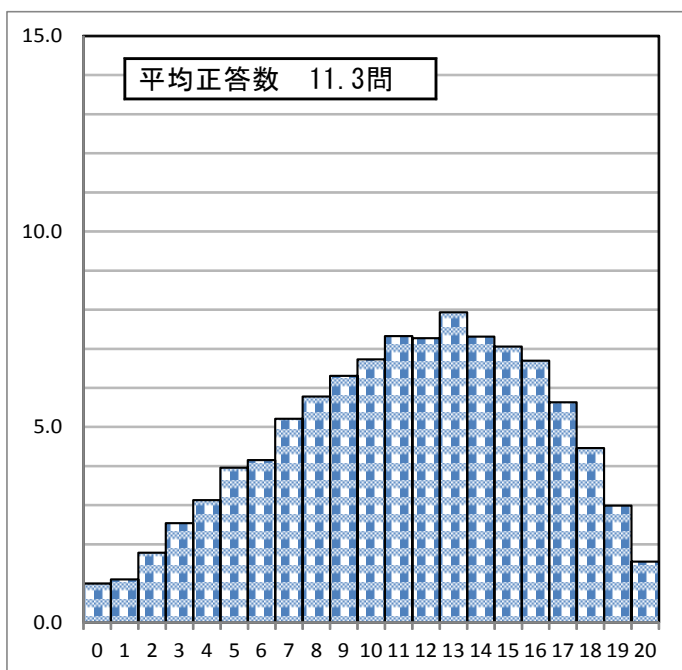
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	11,002 人
設問数	20 問
平均正答率	56.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	59.3
	主として「活用」	5	47.7
学習指導要領の領域等	数と計算	9	60.7
	量と測定	5	49.0
	図形	3	58.0
	数量関係	3	38.4
評価の観点	数学的な考え方	5	47.7
	数量や図形についての技能	12	59.9
	数量や図形についての知識・理解	3	56.7
問題形式	選択式	6	65.9
	短答式	11	58.7
	記述式	3	28.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



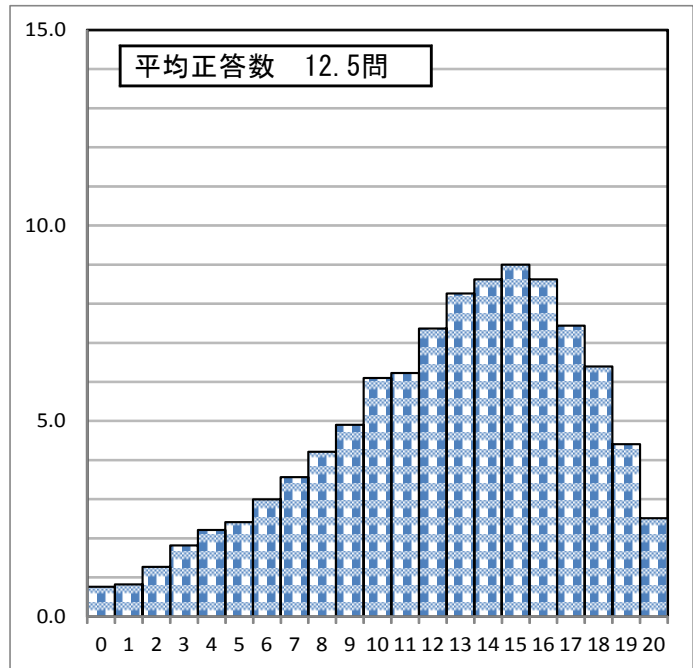
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	10,925 人
設問数	20 問
平均正答率	62.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	68.4
	主として「活用」	5	43.9
学習指導 要領の 領域等	数と計算	10	66.9
	量と測定	3	51.0
	図形	3	61.4
	数量関係	4	59.9
評価の 観点	数学的な考え方	5	43.9
	数量や図形についての技能	11	72.5
	数量や図形についての知識・理解	4	57.0
問題形式	選択式	6	57.8
	短答式	12	67.6
	記述式	2	43.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算の技能や数の仕組みを理解すること成果が見られる。
 - ・繰り下がりのある3位数－2位数の減法の計算をすること (小4 1(1) : 82.8%)
 - ・整数と小数の加法の計算をすること (小4 1(4) : 80.3%)
 - ・同分母分数の減法の計算をすること (小4 1(5) : 91.2%)
 - ・億や万の大きな数を数字で表すこと (小6 2(1) : 82.7%)

- 数量関係を捉えることに成果が見られる。
 - ・問題場面を線分図に表すこと (小4 11(1) : 82.9%)
 - ・数量を□や△などを用いて表し、その関係を式にすること (小5 1(2) : 85.5%)
 - ・ x や y を用いて、数量の関係を式に表すこと (小6 9 : 87.7%)
 - ・比例関係に着目し、正六角形のまわりの長さを求めること (小6 10 : 93.1%)

- 分数の意味を理解することに課題が見られる。
 - ・数直線上の数を分数で表すこと (小4 3 : 12.7%)

- 数量関係を理解することに課題が見られる。
 - ・示された数値をもとに、折れ線グラフの縦軸の目盛りの取り方を考えること (小4 4(1) : 45.9%, 小5 10 : 39.3%)
 - ・乗法の場面を、□を使った式に表すこと (小4 5 : 25.4%)
 - ・二次元表の中の数が表す事柄を読み取ること (小5 11 : 37.5%)

- 割合の内容を理解することに課題が見られる。
 - ・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること (小6 3 : 35.7%)
 - ・1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい分数である場合でも除法を用いることを理解すること (小6 4(2) : 48.4%)
 - ・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること (小6 12 : 23.2%)

- 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。
 - ・変わり方の様子が分かりやすい理由を、根拠を明らかにして記述すること (小4 4(2) : 12.4%)
 - ・三角形の二つの辺の長さが円の半径であることを基に、二等辺三角形ができる理由を記述すること (小4 7 : 19.6%)
 - ・円の半径の求め方を長方形の横の長さから考え、記述すること (小4 13 : 42.9%, 小5 9 : 37.5%)
 - ・体積の違いを筋道を立てて記述すること (小5 4(2) : 13.4%, 小6 8(2) : 22.5%)
 - ・面積が 1 cm^2 小さくなることの説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を言葉と式を用いて記述すること (小5 12(2) : 35.7%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

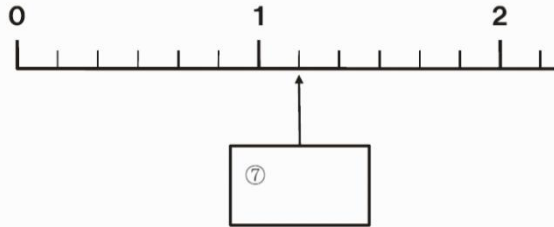
※ ○は成果、●は課題を示している。

算数 【小学校4・5・6年生】

(小学校4年生)

● 分数の意味を理解することに課題が見られる。

3 次の数直線には、となりあった整数の間を6等分した目もりがついて
います。□の数を、分数で表しましょう。



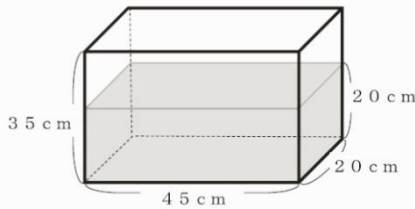
【正答】 $\frac{7}{6}$ ($1\frac{1}{6}$)

正答率：12.7%

(小学校5・6年生)

● 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。

4 次の図のような直方体の水そう（数字は内のりの長さ）に深さ20cm 水を深さ10cm分増やしたいと思います。そこで、バケツに8Lの
まで水が入っています。 水を用意しました。すると、ゆうたさんが、次のように話しました。



深さ10cm分増やすためには、
8Lの水では足りないよ。



(2) ゆうたさんが、8Lの水では足りないと考えたわけを、言葉や式を
使って説明しましょう。

【正答例】 深さ10cm分の水の量は、 $20 \times 45 \times 10 = 9000$ で、
 9000 cm^3 です。
バケツの水の量は、 $8\text{L} = 8000 \text{ cm}^3$ です。
バケツの水の量は、深さ10cm分の水の量より少ないので、
足りません。

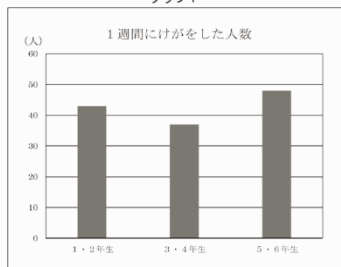
小5正答率：13.4%，小6正答率：22.5%

(小学校6年生)

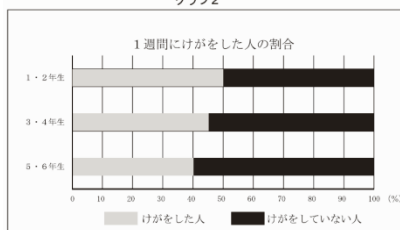
● 割合の内容を理解することに課題が見られる。

12 あきらさんは、学校で1週間にけがをした人数について調べました。

グラフ1



グラフ2



あきらさんたちは、グラフ1とグラフ2を見て次のようにまとめました。

- ・けがをした人数が一番多いのは **ア** です。
- ・ **ア** のけがをした人数の割合は、一番 **イ** です。

上の **ア** にあてはまるものを、下の1から3の中から1つ選んで、そ
の番号を書きましょう。また、上の **イ** にあてはまるものを、下の4と
5から選んで、その番号を書きましょう。

- ア**
- 1・2年生
 - 3・4年生
 - 5・6年生

- イ**
- 4 小さい
 - 5 大きい

【正答】 **ア** 3 , **イ** 4 (完答)

正答率：23.2%

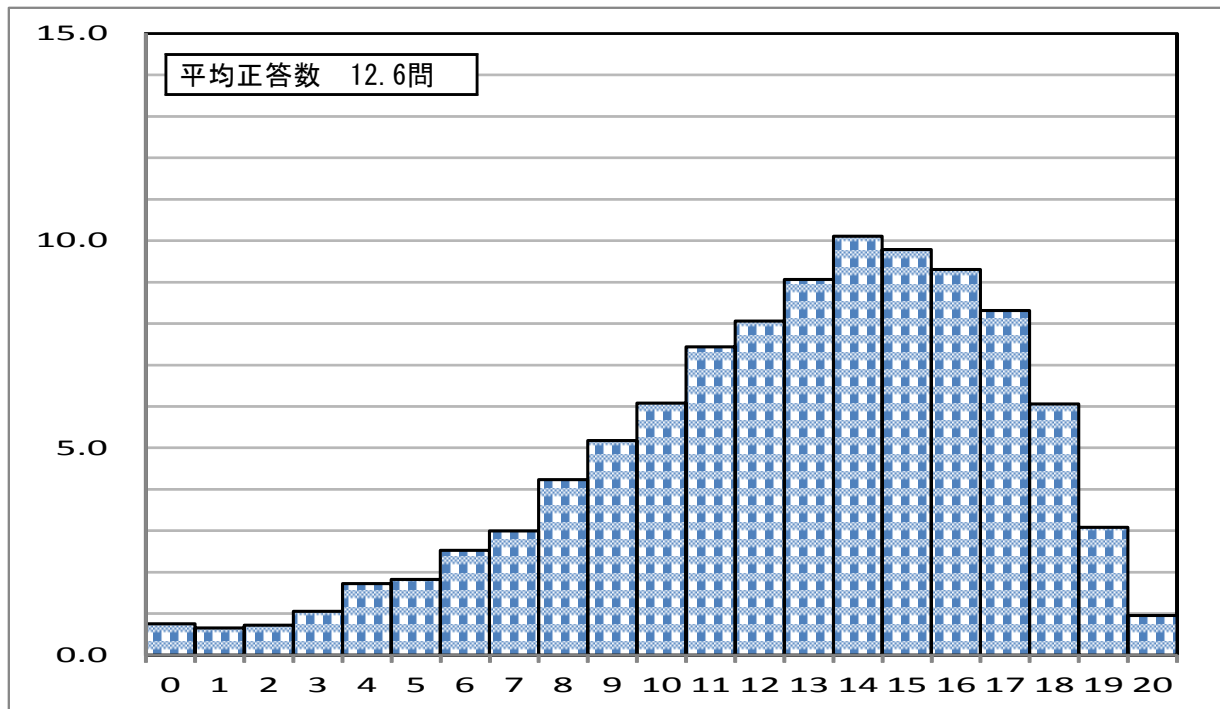
(3) 社会

【第5学年】

実施児童数	10,978 人
設問数	20 問
平均正答率	63.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	12	69.8
	主として「活用」	8	52.9
学習指導 要領の 領域等	身近な地域	3	64.5
	地域の生産や販売	2	76.6
	地域の人々の健康な生活	0	—
	地域の人々の安全	3	77.0
	地域の古い道具、文化財や年中 行事	0	—
	県の地形や産業	4	54.8
	我が国の国土	5	52.1
	我が国の農業や水産業	3	68.0
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	6	51.5
	資料活用 of 技能	8	67.2
	社会的事象についての知識・理解	6	69.1
問題形式	選択式	9	68.5
	短答式	6	70.0
	記述式	5	45.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 地図の基本的な約束事に関しては、知識・理解の定着が見られる。
 - ・ 地図記号が表している建造物を判断すること (1)90.8%
- 地域の安全を守る働きについての学習など、学習の対象が身近な生活に関わる場合には、知識の定着が見られるとともに、資料活用の技能についても一定の成果が見られる。
 - ・ 山口県で起こった事件の数をグラフから正確に読み取ること (3)81.4%
 - ・ 会話の内容に必要な資料を判断すること (3)83.9%
- 地図から身近な地域の様子を捉え、場所による特徴について理解することに課題が見られる。
 - ・ 大型ショッピングセンターが大きい道路沿いにある理由について、説明すること (1)40.4%
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに、引き続き課題が見られる。
 - ・ 交通の様子を表した地図から、山口県は海外の国ともつながっていることを条件に合わせて、説明すること (5)38.4%
 - ・ 平均気温と降水量の特徴をもとに、地域を判断し、その気候の特徴について説明すること (7)11.5%
- 日本の位置を条件に合わせて説明することに課題が見られる。
 - ・ 日本の位置を大陸の名称と方位を用いて、説明すること (6)38.3%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

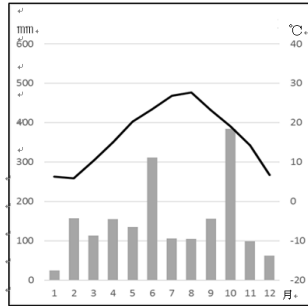
※ ○は成果、●は課題を示している。

社会【小学校5年生】

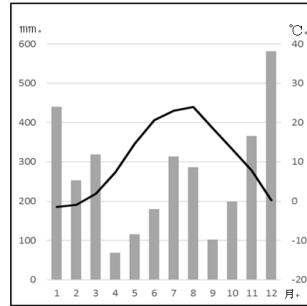
- 資料から必要な情報を読み取り、それらの情報をもとに、条件に合わせて説明することに、引き続き課題が見られる。

7 ゆうこさんは、手紙をきっかけに、日本各地の気候にきょうみをもちました。調べてみると、東京とA市の月別平均気温と降水量についての資料が見つかりました。

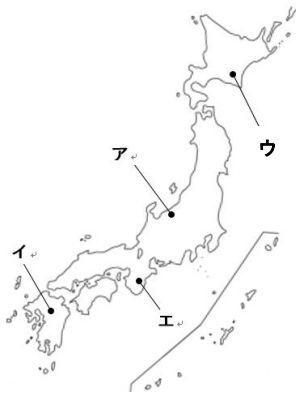
東京の月別平均気温と降水量



A市の月別平均気温と降水量



(2) A市は、どの都市の気候だと考えられますか。下の地図の**ア**から**エ**の中から一つ選んで、その記号を書きましょう。また、そのように考えられる理由を書きましょう。



【正答例】(完答)

(2) 記号 ア

理由 冬の気温が低く、冬の降水量が多いから。

正答率：11.5%

- 日本の位置を条件に合わせて説明することに課題が見られる。

6 けんたさんたちは、次の世界地図を見ながら、世界の国々と日本の位置について話し合っています。

<児童が話し合っている様子を提示>

(2) かおりさんは、日本の位置を説明しています。 にあてはまる説明を、世界で最も大きな大陸の名前と方位を用いて書きましょう。

【正答例】(2) ユーラシア大陸の東側

正答率：38.3%

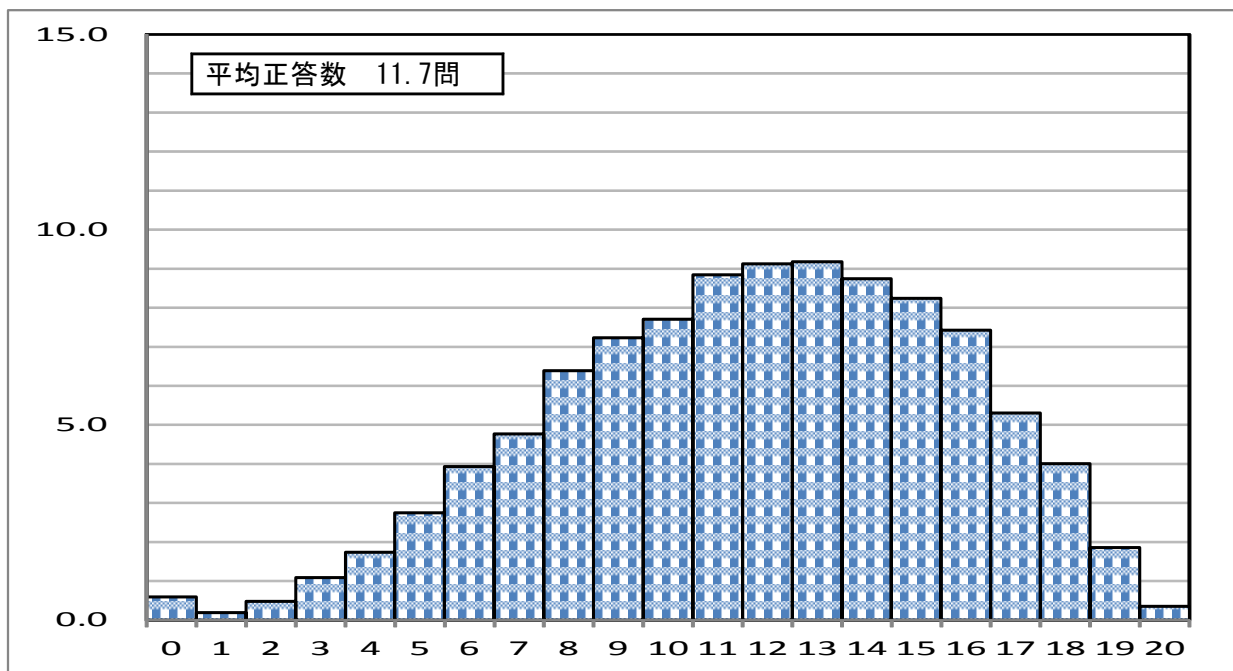
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	11,000 人
設問数	20 問
平均正答率	58.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	61.5
	主として「活用」	5	49.9
学習指導 要領の 領域等	物質	3	65.3
	エネルギー	7	54.4
	生命	8	60.3
	地球	2	56.0
評価の 観点	科学的な思考・表現	6	50.0
	観察・実験の技能	5	61.8
	自然事象についての知識・理解	9	62.5
問題形式	選択式	11	61.8
	短答式	6	51.0
	記述式	3	62.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 目的に応じて予想を設定することに成果が見られる。
 - ・ 輪ゴムで動く車のゴムの働きを調べる実験について、目的に合わせて変える条件とそろえる条件を判断できること (1)93.9%

- 人の体のつくりと働きを理解することに成果が見られる。
 - ・ 体の各部にある曲がる部分を「関節」という名称で理解すること (4)83.7%

- 動物の発生や成長について観察するための必要な知識・技能について成果が見られる。
 - ・ メダカの生育に適した環境について理解すること (8)87.2%

- 水の性質について理解することに成果が見られる。
 - ・ 水は圧しても体積は変わらないという水の性質を理解すること (5)62.8%

H29小5 学力定着状況確認問題49.4%

「水と空気の押し縮められ方の違いについて理解している」

- ゴムの力と物の動く様子に着目する実験について、実験の目的に合わせて変える条件とそろえる条件を判断することに課題が見られる。
 - ・ 輪ゴムの本数と車の動く距離の関係を調べるために、比較すべき条件を判断すること (1)52.7%

- 光の性質について理解することに課題が見られる。
 - ・ 虫めがねで日光を集めたときの明るさと紙の様子について、理解すること (2)17.6%

- 植物の発芽について理解することに課題が見られる。
 - ・ インゲンマメが育ってしおれた子葉が、種子のどの部分にあたるかを理解すること (6)36.4%

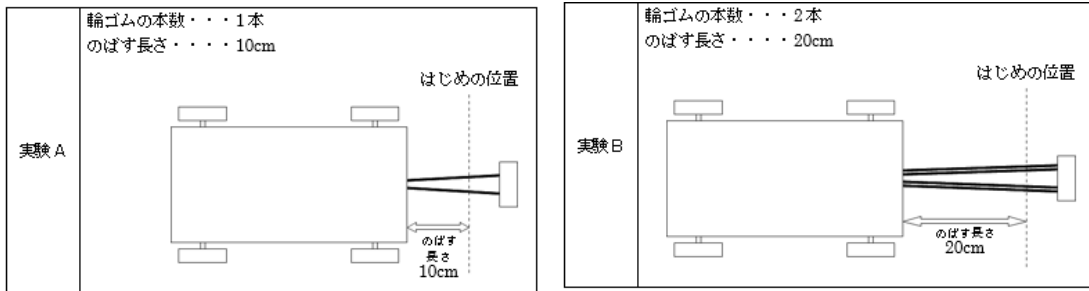
正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【小学校5年生】

- ゴムの力と物の動く様子に着目する実験について、実験の目的に合わせて変える条件とそろえる条件を判断することに課題が見られる。

1 (2) 太ろうさんは次のAとBの二つの実験で、輪ゴムの本数と車の動くきよりの関係を調べようとしています。すると、花子さんが太ろうさんにアドバイスをしました。花子さんのアドバイスを読んで、()に当てはまる言葉を答えましょう。

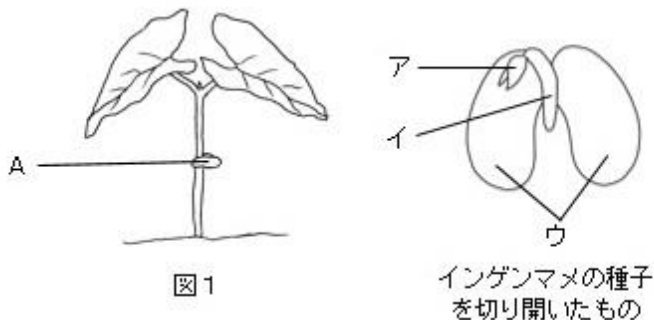


【正答例】〈花子さんのアドバイス〉
 輪ゴムの本数と車の動くきよりの関係を調べたいのよね。
 それなら、(のばす長さ) をそろえないといけないと思うよ。

正答率：52.7%

- 植物の発芽について理解することに課題が見られる。

6 (2) 太ろうさんと花子さんは、インゲンマメの種子を土に植えました。インゲンマメが育ってくると、図1のAの部分がしおれていました。Aの部分の名前を答えましょう。また、Aの部分に当たるのは、インゲンマメの種子を切り開いたもののどの部分ですか。アからウの中から一つ選んで、記号で答えましょう。



【正答例】〈名前〉子葉
 〈記号〉ウ

正答率：36.4%